
鬼神が殺ってくるゲームプレイヤーズ

左藤ゆいむ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

鬼神が殺ってくるゲームプレイヤーズ

【Nコード】

N0367Q

【作者名】

左藤ゆいむ

【あらすじ】

前の続きになっております。

2話「仮面」

僕たちは目をつぶった・・・

「なんだよ・・・これ・・・」

「もう・・・やだ・・・」

「野球部、全員殺したのか？・・・」

みんなが黙った・・・

「もう・・・駄目なのかもな・・・」

「・・・」

生きることが本当に出来るのだろうか？

残り時間は1時間50分。

もう100人近く殺された。

つぎは僕たちの番か？

頭には最悪のことしか考えられない・・・

今ここにいるのは4人、僕と石岡いしおか相木あいぎ出来尾できおだ

部活のみんなとは離れてしまいどうなったかは、

わからない・・・

もう死んでるかも知らない・・・

そんなことを考えていると

「暗いことを考えてもしょうがねえ、使えそうな武器を探してくる」と石岡がそう言った。

僕は明るいことを言ってくれる石岡が頼もしいと思った。

「武器なんて通用しないだろ・・・」

たしかにそうかも知れない・・・

武器があつたところであの黒い何かにやられるだろう・・・

「少しでも希望があるのならそれにすがりつきたいじゃん？」

「俺たちがあきらめたら「あいつ」の思うつばだ！」

「俺たち4人一緒にクリアしおうぜ！」

そう言つて石岡は武器がありそうな倉庫にむかった。
みんなはついていこうとしなかった・・・

僕は何故か石岡について行つた。

2人は教室に残っている

危険なことをしたくないのだろう。

「あの二人大丈夫かな？」

「心配ならお前も戻つていいぜ」

「石岡だけカッコいいことさせないよ！」

「言つたな」このやろ」

とそのときだつた下の階から異様な声がした・・・

「イヤアアア」

「この声は美緒みおか？」

階段を大急ぎで下の階に行つた。

「酷い・・・」

生徒が何人も倒れている・・・

廊下は血まみれだ・・・

みんな死んでいる、それは見るも無残なすがたである・・・

「う、うえええ」

僕は吐いてしまった・・・

ある生徒は首が切られ、

ある生徒は胴が切られ、

ある生徒は足が切られ、

ある生徒はバラバラに切られていた・・・

その先を見ると「鬼神」がいた。

「これでのこり50人かな？」

「くつくくく」

「イヤアア・・・助けて・・・お願い・・・」

「ヤーダーヨー」

黒い何かで美緒を刺そうとした瞬間、

石岡が走っていた・・・

僕は足が震えて、動けなかった……

「うおおおおお」

「このやろっお おおお」

「あ？」

【ぐぐ】

「なんだ？お前は？ヒーロー気取りか？」

「この女を助けるためか？」

「滑稽、滑稽」

「でも残念でした」

「神慈……美緒を助けて……やっ……くれ……」

[illegible]

「自分のことよりこの女を助けろと？」

「とんだ王子様だな」

【グチウア】

石岡が真つ二つになつた……

「うはあ ああああああ ああつ ああああああああああああ
ああああああ」

僕は頭がおかしくなりそうだった……

「ああああああああああああああああああああ」

「くっくく、友達が死んでおかしくなちゃた？」

「うりあ あああ」

気づくと僕は「鬼神」を殴っていた。

しかも、もろにはいつていた。

「てめええええ絶対殺すううう」

「鬼神」の仮面が割れていた。

「え？」

僕は目を疑った……

その瞬間僕は気を失った……

「やばいな、中身を見られた・・・記憶を消さなくては・・・」

目が覚めると鬼神は消えていた。

美緒と僕が職員室にいた・・・

「あれ・・・たしか鬼神に・・・・・・・・」

思い出そうとすると頭が痛い。

なぜか石岡が殺されたところから記憶がない。

残り1時間00分、人数50人

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0367q/>

鬼神が殺ってくるゲームプレイヤーズ

2011年1月13日08時22分発行